

開町130年・町制施行50年記念事業 ふるさと盆踊りで新冠音頭が復活!

8月13日、役場前駐車場で新冠の夏の風物詩「にかつぷふるさと盆踊り2011」(新冠町青年団体連絡会議主催)が開催され、家族連れなど約1000人が会場に足を運びました。
今年も、開町130年・町制施行50年の節目の年ということから、近年あまり踊られなくなっていた「新冠音頭」を復活させて踊りました。
この「新冠音頭」は、50年前の町制施行の記念事業の一環として作詞作曲され、30年前の開町100年のときに振り付けが考案されたものです。
また、盆踊り会場では、動物のふれあいコーナーや露店、ビアガーデンなどが行われたほか、お菓子まきや抽選会が行われ、子どもから大人まで楽しめる企画となっており、参加者は、新冠の短い夏のひとときを楽しんでいました。



高齢者叙勲

山岡透さんに旭日单光章

このたび山岡透さんに高齢者叙勲として、旭日单光章が授与され、8月25日、北村健日高振興局長から勲記と勲章が伝達されました。
山岡さんは、昭和46年5月に新冠町議会議員に初当選以来、昭和58年4月まで連続3期12年の永きにわたり在職し、町の振興発展に多大な貢献をされました。



在職中は、公平かつ冷静な判断と地方自治に対する深い識見により、多方面にわたる地方自治の振興に尽力されました。

東義海さんに総務大臣表彰



このたび東義海さんに総務大臣表彰が贈られました。
東さんは、平成2年に総務大臣より行政相談員として委嘱されて以来、21年の長きにわたり、行政に対する町民からの相談に親身になって対応してきました。
その功績が認められ今回の受賞となりました。

新冠町子ども発達支援センター開設記念



8月4日、レ・コード館シアターで新冠町子ども発達支援センターの開設を記念した講演会が開催されました。
この支援センターは、旧節婦保育所跡に開設されるもので、就学前の知的障がい児、肢体不自由児などの発達支援や、両親への相談支援を行なう施設となっています。

おうるの郷(旧東川小学校)夏祭り



8月27日、おうるの郷で夏祭りが開催され多くの来場者が訪れました。
この祭りは、「童心にかえろう」をテーマに今年初めて行なわれたものです。
当日は、少年判官太鼓やジュニアジャズバンドの演奏、そば打ちの披露や縁日、抽選会などが行われ、会場は一日中賑わいを見せていました。

戦争犠牲者の冥福を祈り 戦没者慰霊祭



8月19日、本町多目的交流センターで新冠町戦没者慰霊祭(新冠町遺族会主催)が開催され、軍人や遺族ら50人が出席しました。
慰霊祭では、遺族会の小野会長が「遺族も高齢化が進み会員は減少しているが、体力の続く限り、若い世代に恒久平和の誓いを語り継ぎたい」と式辞を述べました。

ま ち の 話 題

あれこれ

開町130年・町制施行50年記念 第33回少年野球新冠大会

8月7日、町民グラウンドで第33回少年野球新冠大会が開催され、日胆地区より8チームが参加しました。
新冠野球スポーツ少年団は、1回戦でえりも岬野球スポーツ少年団と対戦。序盤で大量点を奪うものの、後半同点に追いつかれ延長戦へ。点を取っては取られ、2時間を超える試合の結果、18対17で勝利しました。約20分の休憩後行なわれた2回戦



は、平取野球スポーツ少年団と対戦。
1回戦の疲れもあり、2対12で惜しくも敗れました。

リレーで北海道マラソンに挑戦



8月28日、町民グラウンドで「北海道マラソンに挑戦」が開催され、約200人の町民が参加しました。
北海道マラソンのスタートと同時に第1走者がスタート。1周2000mのトラックを、リレー方式で211周しました。
結果は、北海道マラソンの1位より、2分6秒早い2時間12分4秒でした。

東日本大震災被災者受け入れツアー



8月9日、11日、19日の3日間、東日本大震災で札幌周辺に避難中の親子を対象に「新冠被災者応援ツアー」が開催されました。
ツアーは何れも日帰りで、参加者87人が、本町の特産品であるピーマンの収穫体験や森林公園の散策など、新冠町の自然に触れる内容で行なわれました。